

最近の雇用失業情勢について

平公共職業安定所長 岩見竹志

はじめに、一般社団法人雇用管理協会の八幡会長様をはじめ会員の皆様には、日頃より職業安定行政の運営にご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、いわき地域における最近の雇用失業情勢ですが、平成30年12月の有効求人倍率は、1.79倍と福島県平均の1.52倍、全国平均の1.63倍を上回っています。

有効求人倍率が高水準で推移している要因は、まず、有効求人数において、常磐自動車道の二車線化及びインターチェンジの増設に伴う建設業の求人増加、好景気による製造業・卸小売業を中心とした人材確保及び医療福祉業における人材確保等が求人数を高水準で牽引していること。また、有効求職者数においては、雇用失業情勢の改善による雇用の進展、少子高齢化による労働力人口の減少等により、震災前に比べて大きく減少していることが挙げられ、慢性的な人手不足の状況が続いています。

新規求人数及び新規求職者数の動向を見ても、まず、新規求人数では、平成23年度から

伸び続けてきたものが、平成27年度下期から微減に転じており、平成30年度においても同様の状況となっています。新規求人の産業別状況（4月～12月）では、建設業（対前年同期比7.1%増）、製造業（対前年同期比7.8%増）卸売業（対前年同期比29.1%増）で求人数が大きく増加している一方で、小売業（対前年同期比15.6%減）、医療・介護福祉業（対前年同期比7.5%減）、労働者派遣事業（対前年同期比17.5%減）では求人数が大きく減少しています。

次に新規求職者数については、震災以降雇用失業情勢の改善による雇用の進展により減少傾向が続いており、平成30年12月累計では、対前年同期比4.6%減で推移しています。

また、4月から12月までの新規求職者の態様別による構成比では、「会社都合による離職者」が13.6%（前年同期14.9%）で1.3p減少、「在職者」は31.6%（前年同期30.0%）で1.6p増加、「自己都合による離職者」は40.6%（前年同期41.0%）で0.4pの減少となっており、在職中で求職活動を行う方が増加しています。このように新規求職者のうち、

[別表1] 一般職業紹介状況（平職安管内）

項目	区分	30年12月		前月 30年11月値	前年同月 29年12月値	対前月比 (%)	対前年同月比 (%)
		いわき計	うち出張所				
全数 【パートを含む】	新規求職者数	978	399	1,198	1,048	▲18.4	▲6.7
	月間有効求職者数	4,717	1,895	5,183	4,786	▲9.0	▲1.4
	新規求人数	2,914	1,144	3,062	3,188	▲4.8	▲8.6
	月間有効求人数	8,456	3,323	8,642	8,535	▲2.2	▲0.9
	紹介件数	1,199	481	1,470	1,122	▲18.4	6.9
	就職者件数	429	187	495	445	▲13.3	▲3.6
倍率	新規求人倍率	2.98	2.87	2.56	3.04	0.40point	▲0.06point
	有効求人倍率	1.79	1.75	1.67	1.78	0.12point	0.01point